

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	5-	3	
会計	款	項	目
一般	2	1	6
会計	款	項	目

事業名	人権啓発活動事業
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために
施 策	3-6 人権尊重社会の形成
係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、学校、事業所など	目的 (対象がどのような状態になっているか)	すべての人の人権が尊重された社会をつくる。
事業内容	人権啓発事務…東員町人権が尊重されるまちづくり条例の理念達成を目標に、人権講演会や人権講座の開催、人権ポスター・人権標語コンクールの実施、広報誌・ホームページ・ラムトピックスでの啓発、人権擁護委員との連携協力による啓発活動を継続することで人権意識の高揚を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1 人権講演会や研修会の参加人数	200	0	58	人	→	200
	2 人権啓発回数	0	2	5	回	→	2
	3 人権擁護委員数	6	6	6	人	→	6
	4						
	5						
			令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (予算)
全体事業費 (千円)			717		676		627
財源 内訳	うち一般財源		560		541		493

3 事務事業の評価、今後の方針性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方針性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	園児、児童生徒を対象に人権啓発を行い、人権意識の定着を図ると共に、イベント等での啓発活動を実施していく。	③取組の課題	当町では、深刻な人権差別にかかる問題が起きていないため、町民に問題意識を持っていただくことが難しい。
②R6年度に実施した取り組み	町内保育園・幼稚園で人権講座を実施するとともに、町内中学生を対象に人権標語コンクールを行った。また、ユニバーサルデザインをテーマに講師をお招きし、講演会を開催した。	④今後の改善計画	今後も子どもを対象に人権啓発を行い、人権意識の定着を図るとともに、イベント等での啓発活動を実施する。また、外国人との共生社会実現のための啓発活動を行う。